

## まじめに真剣にウソをつく体質 - 関西電力 -

8月10日、関西電力に公開質問書（7月21日に提出）への回答を求めに、出向きました。関電広報部も人事異動があり、当日は小松マネージャーと岩崎マネージャーが対応し、本社回答のメモを読み上げました。

相変わらずの答えて、あくまでもプルサーマルはすすめたい、資源・エネルギーとして重要であるとの返答でした。

高浜原発のMOX燃料加工を引き受けているBNFL社の燃料については、ずさんな「安全管理」の実態が明るみに出てきました。しかし、このようないい加減な会社であることは、以前から関電は知っていたはずなのです。そればかりか、関電自体もいい加減な企業であることがますます明るみにでました。

3年前に私たちは、福井県武生市で関電との公開討論会をおこないました。その中で福井の人が質問しました。「MOX燃料の品質は大丈夫か？今まで事故はないのか？」と。そのとき、関電は、きっぱりと「MDFではこれまでに事故やトラブルはありません」と回答しました。

でもこれは、ウソだったのです。

昨年の8月3日の関電討論会では、この問題について、以前、スイスのベズナウ原発でBNFL製のMOX燃料の事故があったことを知りながら隠していたことを認めました。

2年経ってやっと本当のことを認めさせたところホッとしながら、改めて「ひどいものだ」と思ったものです。

しかし、今回の関電の回答は、全く驚くべきものでした。すべてをねじ曲げて勝手な解釈をしているのです。

そのひどさを紹介します。

「MOX燃料によって事故は起こらないかという（3年前の武生市での）質問に対して答えた

趣旨は、MOXだからといってウラン燃料と異なる事故が起こることはないというものでした」と、用意したメモを読み上げました。

どうでしょうか、みなさん、おかしさがわかりましたでしょうか。

3年前の質問者は、「過去に事故はなかったのか」と聞いたのですが、質問の意図を勝手にかえて、「これから事故は起こらないのか」との質問だったというのです。3年経てば、質問された内容まで変えてくるのです。

どうして関電は、このようなことができるのでしょうか。皆さんも、不思議だと思われることでしょう。

でも、きっと関電は、自分たちの言ったことを正当化するためにはウソを平気で作る企業体質なのです。私たちの追及に窮した広報部はもう一度持ち帰り返答すると引込みました。

こんな会社が、あの危険きわまりない原子力発電所を運転しているのです。こんな人たちに私たちの生活や命や健康を預けていると思ったらぞっとします。

また、原発から出る使用済み核燃料の貯蔵について、原発サイトでは満杯になるため、中間貯蔵施設立地を関電エリア内で考えています。関電社長に就任した藤社長は就任時に「年内に中間貯蔵施設立地点を1ヶ所に絞る」と発言したと報道されています。このことについて聞きましたが、関電広報部は、それはまちがいだと返答しました。いまだに候補地については、公表できないの一点張りです。和歌山や、京都で関電立地部が動いているのではないかと問いかけてみましたが、知らないと言うのみでした。

私たちは、再度質問書を提出しました。質問書への回答を粘り強く迫ります。一緒に頑張りましょう。

## ブルサーマル計画に関する関西電力への再質問書 (主な内容)

1. スイス・ベズナウ原発のMOX燃料事故隠して、新たな回答をした件について

1998年4月5日の武生市での公開討論会で、貴社が過去のMOX燃料のトラブルについて問われたあとで、スイス・ベズナウ原発でBNFL製MOX燃料の事故があったことを知りながら隠して、福井県民などにウソの答弁をした件について、8月10日の交渉で貴社は「MOX燃料によって事故は起こらないかという質問に対して、答えた趣旨はMOXだからといって、ウラン燃料と異なる事故が起こることが無いという趣旨で回答した」と、用意したメモを読み上げ回答しました。

これは、貴社も「これまでの回答と違う」と認めるこの新たな回答をなぜ行ったのか、詳細に説明して下さい。

2. SMPに関するORC(海外再処理委員会)のレター公表について

SMPの認可に関わって、日本の10電力を代表してORCから「SMPを動かしてもらいたい。MOX燃料については、コジェマだけではなくBNFLが存在した方がコスト競争できる」という主旨のレターが英国に送られたことを、貴社は8月10日の交渉で認めました。当日にも求めましたが、情報公開が世界的に進む情勢から言っても、この文書を公表すべきだと私たちは考えますが、いかがですか。

3. 中間貯蔵施設立地について

藤社長は社長就任時に「年内に中間貯蔵施設立地点を1ヶ所に絞る」と発言したと報道されています。10日の交渉で貴社はそれは「ま

ちがいだ」と返答しました。この新聞報道は間違いですか。

4. コジェマのMOX燃料データ公開について

貴社は10日に「コジェマのMOX燃料データはしかるべき時期に公開する」と答えました。貴社はいつになったらコジェマのMOX燃料データを公開するのでしょうか。

5. BNFLとの再処理契約交渉について

BNFLから再処理作業の遅れと、再処理料金値上げに関する申し入れがORCを通じてなされ、日本とドイツ等の電力会社が反発していると報じられていますが、10日の交渉では貴社はその真偽を明らかにしませんでした。BNFLとの再処理契約については、この報道のとりの経過があったと見て差し支えありませんか。

6. 高浜原発に保管されるMOX燃料の返還問題について

貴社はあくまでMOX燃料を英国に返還しようとしています。いったい返還後そのMOX燃料はどうするつもりですか。何か貴社として「有効」利用すると掲げられる計画があれば、示して下さい。

(紙面の都合上、全部掲載することができません。詳しく知りたい方は、若狭ネットのホームページをご覧ください。また、ご連絡頂ければ、質問書を送らせていただきます。)